

地域医療連携システムの運用開始について

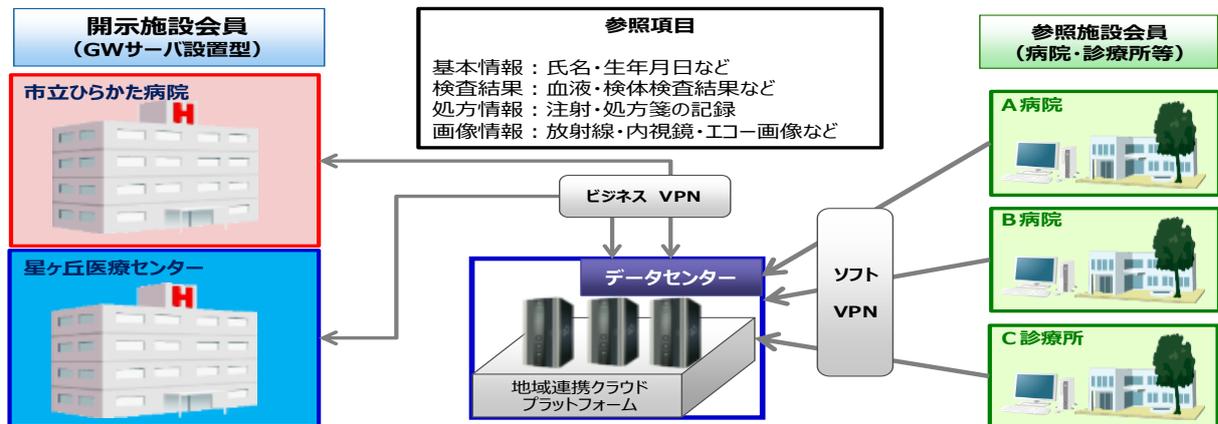
1. 政策等の背景・目的及び効果

ICTを活用して医療機関の連携機能を強化することで、本市域内の医療資源の有効活用を図るとともに、重複検査・重複処方の防止など、より効率的な診療を行うことを目的とします。

2. 内容

診療所等が病院の患者情報を参照できるほか、病院同士でも、互いに患者情報の参照が可能となります。ただし、これを可能にするためには、患者同意が必須であるほか、情報開示側には電子カルテと外部との連携に必要なシステム、また、情報参照側においてはインターネット環境が必要になります。

また、患者情報は個人情報であるため、セキュリティーの高いVPN回線を利用するとともに、高度なセキュリティー機能を持つ外部データセンターを経由することとし、平成 27 年 11 月 25 日に「枚方市情報公開・個人情報保護審議会」にも諮問し答申を得ております。



3. 組織

「ひらかた地域医療連携ネットワーク協議会」を設置し、当該システムを管理運営します。

協議会は、情報を開示する側の「開示施設会員」、参照する側の「参照施設会員」のほか、この事業を賛助する団体及び個人である賛助会員で構成しています。

運用開始時点では、開示施設会員は星ヶ丘医療センター及び市立ひらかた病院、参照施設会員は府立精神医療センター及び枚方公済病院及び地域の診療所を想定しているほか、枚方市医師会、枚方市病院協会、枚方市歯科医師会、関西医科大学附属枚方病院は賛助会員として協議会に加入いただいております。

4. 実施時期等

平成28年3月から運用を開始。

5. 総合計画等における根拠・位置付け

第5次 枚方市総合計画(案) III基本計画

施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち

施策目標8 安心して適切な医療が受けられるまち

6. 事業費・財源及びコスト

①システム導入費用 平成27年度…約35,941千円(府補助金 補助率2分の1)

②維持管理費用 平成27年度… 162千円(1ヶ月分)

平成28年度… 1,944千円(1年分)

※ソフトウェア保守料+データセンター使用料

7. その他

①市民周知

広報ひらかたやホームページで周知するとともに、開示施設会員及び参照施設会員の各医療機関でも説明を行います。

②会員募集

開示施設会員と参照施設会員の募集を継続的に行い、会員数の増加を図ります。